

「あなたが私をお呼びになったので、私はここにいます」

私たちの救いの日・永遠の日がやって来た。再び、神なる牧者の口笛・優しい言葉が聞こえてくる。「わたしはあなたの名を呼ぶ」と。神は母のように名指しで招いてくださる。しかも、親しい愛称で呼んでくださるのだ。そう、心の奥でお呼びになるのだから、応じなければならない。「お呼びになったので参りました」、水の跡も残らない転石のように、無駄な時間を過

ごさない覚悟が今度こそできております。（鍛7）

11月28日

一般化すべきことではないので、一人ひとりが心を開いて自らの体験を主に申し上げます。ある日、たぶんあなたと同じ信者である友人が深くて新しい、しかも同時に福音のように古いパノラマを示してくれました。真剣になってキリストに従い、使徒たちの使徒になる可能性を教えられたのです。そのとき、多分驚いて少しばかり落ち着きを失ったことでしょう。しかし、遂に、自分からやる気になって — これが最も超自然的な理由です — 神に向かって「はい」と答えました。するとあなたの不安は平安に変わったのです。そして、何が起ころうとも変わることなく続く喜び、神から離れた

時にしか消えない喜びを得たのでした。

私たちが選ばれた人であるとか、特権を得た者であるとは言いたくありません。しかし、話しかけお選びになるのはキリストご自身なのです。聖書にそう書いてあります。「ご自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました」（エフェソ1・4）とパウロが述べている通りなのです。選ばれたからと言って、あなたが高慢になったり、自分が他人より優れていると思ったりしないことはわかっています。召し出しの根本である、この神から選ばれたという事実は、謙遜の基礎となるべきはずだからです。絵筆のために記念碑を建てたりするのでしょうか。絵筆は傑作を物にするために役立ちました。しかし、その功績は画家のものです。わたしたちキリスト信者は、世の創造

主・全人類の救い主の道具にすぎないのです。（知識の香1）

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/dailytext/anataga-Watashi-woo-Yobi-ninattanode-Watashi-hakokoniimasu/> (2025/11/29)